

美濃病院経営安定化プラン検証表

(注) 1. 資本的収支以外の各金額は消費税抜き額(単位:千円)

2. 患者数は健診・予防接種等を除く

項目			5年度 実績値	5年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	5年度 決算統計値	4年度 目標値	4年度 実績値	4年度 決算統計値	備 考	
収益的 収支	入 収	1. 入院、外来収益	① 2,376,017	2,313,536	102.70%	① 2,376,016	2,313,536	2,367,277	2,367,277		
		医業収益	2. 他会計負担金	② 16,418	14,632	112.21%	② 16,418	14,632	16,376	16,376	
			3. その他	③ 211,018	200,851	105.06%	③ 211,019	200,851	210,733	210,733	
			1. 他会計負担金	④ 19,767	22,468	87.98%	④ 19,767	22,468	21,233	21,233	
		医業外収益	2. 他会計補助金	⑤ 49,200	19,981	246.23%	⑤ 27,200	19,981	22,012	15,802	
			3. その他	⑥ 87,150	20,000	435.75%	⑥ 109,150	20,000	202,206	174,860	
			収入計 (A)	⑦ 2,759,570	2,591,468	106.49%	⑦ 2,759,570	2,591,468	2,839,837	2,717,329	
	出 支	医業費用	1. 給与費	⑧ 1,352,761	1,364,158	99.16%	⑧ 1,282,517	1,364,158	1,382,126	1,174,062	
			2. 材料費	⑨ 317,524	354,062	89.68%	⑨ 317,524	354,062	326,849	303,884	
			3. 経費	⑩ 726,209	460,281	157.78%		460,281	711,404		
			4. 減価償却費	⑪ 209,933	245,210	85.61%	⑩ 209,933	245,210	211,615	214,229	
			5. 資産減耗費	⑫ 2,688	1,000	268.80%		1,000	3,888		
			6. その他	⑬ 65,756	53,109	123.81%	⑪ 864,896	53,109	64,070	821,923	
		医業外費用	1. 支払利息	⑭ 26,349	34,887	75.53%	⑫ 26,350	34,887	29,095	31,805	
2. 繰延資産償却			⑮ 7,888	17,456	45.19%	⑬ 7,888	17,456	18,038	18,527		
3. その他			⑯ 100,058	58,000	172.51%	⑭ 100,058	58,000	89,441	95,240		
支出計 (B)			⑰ 2,809,166	2,588,163	108.54%	⑮ 2,809,166	2,588,163	2,836,526	2,659,670		
経常利益 (C) = (A)-(B)	⑱ △ 49,596	3,305		⑯ △ 49,596	3,305	3,311	57,659				
特別損益 (D)	⑲ △ 17,106	△ 3,000		⑰ △ 17,106	△ 3,000	△ 3,060	△ 2,228				
当年度純利益 (E) = (C)+(D)	⑳ △ 66,702	305		⑱ △ 66,702	305	251	55,431				
前年度未処分利益剰余金 (F)	㉑ 309,137	256,874		⑲ 309,137	256,874	308,886	253,455				
前年度分利益剰余金処分額 (G)	㉒			⑳							
前年度繰越利益剰余金 (H) = (F)-(G)	㉓ 309,137	256,874		㉑ 309,137	256,874	308,886	253,455				
当年度未処分利益剰余金 (I) = (E)+(H)	㉔ 242,435	257,179		㉒ 242,435	257,179	309,137	308,886				
資本的 収支	入 収	1. 企業債	㉕ 0			㉓					
		2. 出資金(他会計)	㉖ 163,019	144,597	112.74%	㉔ 163,019	144,597	161,214	156,644		
		3. 国、県負担金、補助金	㉗ 0			㉕					
		4. 他会計負担金、補助金	㉘ 0			㉖			10,285		
		5. その他									
	収入計 (J)	㉙ 163,019	144,597	112.74%	㉗ 163,019	144,597	161,214	166,929			
出 支	1. 建設改良費	㉚ 145,169	20,000	725.85%	㉘ 145,169	20,000	100,249	139,021			
	2. 企業債償還金	㉛ 260,202	225,915	115.18%	㉙ 260,202	225,915	257,456	249,171			
	3. その他	㉜			㉚			99,922			
支出計 (K)	㉝ 405,371	245,915	164.84%	㉛ 405,371	245,915	357,705	488,114				
差し引き合計 (L) = (J)-(K)	㉞ △ 242,352	△ 101,318		㉜ △ 242,352	△ 101,318	△ 196,491	△ 321,185				
留保資金	前年度末残高	㉟ 2,851,222	2,783,970		㉝ 2,819,799	2,783,970	2,819,800	2,848,433			
	当年度増減額	当年度発生額	㊱ 50,563	264,671		㉞ 50,563	264,671	227,913	292,551		
		減価償却費	㊲ 209,933	245,210		㊱ 209,933	245,210	211,615	214,229		
		資産減耗費	㊳ 2,688	1,000		㊲ 2,688	1,000	3,888	8,023		
		繰延資産償却	㊴ 7,888	17,456		㊳ 7,888	17,456	18,038	18,527		
		収益的収支	㊵ △ 66,702	305		㊴ △ 66,702	305	251	55,431		
	その他(調整を含む)	㊶ △ 103,244	700		㊵ △ 103,244	700	△ 5,879	△ 3,659			
	当年度充当額	㊷ 242,352	101,318		㊶ 242,352	101,318	196,491	321,185			
	資本的収支	㊸ 242,352	101,318		㊷ 242,352	101,318	196,491	321,185			
	その他										
当年度末残高	㊹ 2,659,433	2,947,323		㊸ 2,628,010	2,947,323	2,851,222	2,819,799				
一般会計繰出金の合計額	㊺ 248,404	201,678		㊹ 226,404	201,678	220,835	212,070				
年度末企業債残高	㊻ 2,218,534	3,035,863		㊺ 2,475,990	3,035,863	2,478,736	2,736,192				

美濃病院経営安定化プランにかかる目標値と実績値

項目	5年度 実績値	5年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	5年度 決算統計値	4年度 目標値	4年度 実績値	4年度 決算統計値	備 考
入院単価(円)	(A) 42,876	40,500	105.87%		40,500	41,031		
1日あたり入院患者数(人)	(B) 105.81	107	98.89%		107	105.14		
日数	(C) 366	365			365	365		
入院収益(千円)	(D) 1,660,476	1,586,061	104.69%		1,586,061	1,574,641		
外来単価(円)	(E) 11,601	10,800	107.42%		10,800	12,984		
1日あたり外来患者数(人)	(F) 252.78	280	90.28%		280	251.23		
日数	(G) 244	239			239	243		
外来収益(千円)	(H) 715,541	722,736	99.00%		722,736	792,636		
経常収支比率(%)	(I) 98.23	100.13	98.11%	(A) 98.23	101.42	100.12	100.12	
医業収支比率(%)	(J) 97.33	102.70	94.77%	(B) 97.33	103.62	96.09	96.09	
職員給与費比率(%)	(K) 51.96	53.94	96.33%	(C) 49.26	53.67	53.27	49.69	
病床利用率(%)	(L) 86.73	87.70	98.89%		87.70	86.18		
平均在院日数(日)	(M) 13.60	15.00	90.67%		15.00	12.56		
後発医薬品への転化率(%)	(N) 54.90	37.00	148.38%		37.00	42.98		
紹介率(%)	(O) 38.10	25.00	152.40%		25.00	33.00		
年延手術件数(件)	(P) 611	785	77.83%		785	622		
年延入院患者数(人)	(Q) 38,727	39,055	99.16%		39,162	38,377		
年延外来患者数(人)	(R) 61,678	67,760	91.02%		66,920	61,049		
年健診受診件数(件)	(S) 20,739	12,500	165.91%		12,500	20,547		
一月平均訪問看護利用者数(人)	(T) 118.0	84	140.48%		84	103.4		

※決算統計の給与費には、退職手当組合負担金及び児童手当を含まない。(経費に計上)

美濃病院経営強化プランにかかる目標値と実績値

項目	5年度 実績値	5年度 目標値	目標値に対する 実績値の割合	4年度 実績値
救急受入件数(件)	① 919	902	101.88%	999
手術件数(件)	② 611	630	96.98%	622
在宅復帰率(%)	③ 91.9	86.0	106.86%	84.8
紹介率(%)	④ 38.1	35.0	108.86%	33.0
地域医療研修の受入人数(人)	⑤ 10	8	125.00%	5
経常収支比率(%)	⑥ 98.2	98.5	99.70%	100.1
修正医療収支比率(%)	⑦ 96.7	97.1	99.59%	95.5
1日あたり入院患者数(人)	⑧ 105.8	107.3	98.60%	105.1
1日あたり外来患者数(人)	⑨ 252.8	260.0	97.23%	251.2
入院単価(円)	⑩ 42,876	40,700	105.35%	41,031
外来単価(円)	⑪ 11,601	12,000	96.68%	12,984
病床利用率(%)	⑫ 86.7	88.0	98.52%	86.2
DPC病棟平均在院日数(日)	⑬ 13.5	12.6	107.14%	12.6
材料費 対医療収益比率(%)	⑭ 12.2	12.3	99.19%	12.6
経費 対医療収益比率(%)	⑮ 27.9	27.5	101.45%	27.4
職員給与費 対医療収益比率(%)	⑯ 52.0	51.9	100.19%	53.3
減価償却費 対医療収益比率(%)	⑰ 8.1	8.1	100.00%	8.2
後発医薬品の使用割合(%)	⑱ 54.9	43.0	127.58%	43.0
常勤医師数(人)	⑲ 8	8	100.00%	12
看護師数(人)	⑳ 104	103	100.97%	100
企業債残高(千円)	㉑ 2,218,533	2,218,533	100.00%	2,478,735

開催日時：令和6年9月4日（水） 午前9時25分～10時30分

開催場所：防災中央コミュニティーセンター 2階大会議室

出席委員：長尾副市長 永田総務部長 西部民生部長 井上市長公室長 小瀬木会計管理者
曾貝保健センター所長 後藤総務課長 古田福祉子ども課長 島田高齢福祉保険課長
井川病院事務局長 春田病院事務局管理課長

書記・事務局：なし

1. 開会（事務局長）

2. あいさつ及び進行（副市長）

病院の経営のことであるが市全体の問題として考え、検証・評価をお願いしたい。

3. 議題

（1）令和5年度決算美濃病院経営安定化プラン・経営強化プランの検証・評価

春田管理課長：美濃病院経営安定化プラン・経営強化プラン検証表の決算状況を説明。

〈質疑〉

長尾副市長：平均在院日数が目標より短い目標値を達成できるような取り組みは？

- ・・・病院スタッフ全体に目標値を周知し、早期に退院させるのではなく、慌てず退院調整をしっかり行ってから退院させるよう取り組みを開始しました。

長尾副市長：手術件数が減っているが、何か原因はあるのか？

- ・・・特に原因はありません。6年度は整形外科、眼科で医師が増えているので増加する予定です。

長尾副市長：看護師の人数は足りているか？

- ・・・育休者や時短勤務の人数が多く、夜勤者の確保も含めギリギリの状態です。

井上市長公室長：赤字の理由は経費が上がったことであり、特に光熱費の上昇が原因であると聞いているが、何か下がる見込みはないのか？

- ・・・電気料を下げることは困難だと考えています。新電力への切り替えは、安定供給の面からも考えていません。省エネ機器の導入などによる使用量の削減しかないと考えています。

西部民生部長：法人化による医師の派遣はこれから始まるのか？

- ・・・すでに専攻医、研修医の派遣及び非常勤医師の派遣を新たに行ってもらっています。

後藤総務課長：ジェネリックの転嫁率の増加を目標とするのは包括だからということか？

- ・・・すべての病棟が包括であるため、入院患者への薬品費が下がれば収益が上がることとなります。

島田高齢福祉保険課長：国保ドックについて受診者を増加させていきたいが、健診センターでの受け入れに余裕はあるのか？内視鏡の胃がん健診が増加しても対応は可能？

- ・・・健診センターはまだ余裕があると判断しています。胃カメラについては、必要に応じて松波総合病院からの医師の派遣についても検討しており対応できると考えています。

曾貝保健センター所長：医業外収益が減っているが、市の繰入金が増減しているのか？

・・・コロナウイルスによる病床確保補助金が減少したためです。市の繰入金については必要分について予算交渉をしていきたいと考えています。

西部民生部長：在宅復帰率が目標を大きく上回っているが？

・・・できる限り在宅で生活ができるよう取り組んでいます。

4. 検証及び評価のまとめ

(ア) 今回赤字決算となったが、数値を見る限り構造的な問題ではないと考える。今後は、医薬品・資材・機器など連携推進法人を活用し交渉することで経費に削減に努められたい。

(イ) 令和6年度も厳しい経営状況が見込まれるため、引き続き一層の経営改善を図られたい。

(ウ) 電気代・人件費などの経費増が見込まれるために削減を努められたい。

(エ) 外来患者の会計の待ち時間が長いとの話を聞く、少しでも短くなるよう改善を図られたい。